



CREDO

琉球ガーディアンライオンズ

チーム理念(Team Philosophy)

沖縄において、アメリカンフットボールを通じ、人々に「勇気」「希望」「喜び」を与えるなど社会への貢献を果たし、法人そしてチームの適正な運営を行いながら、チームメンバーをはじめ、関係する全てのステークホルダーを幸福にする、高い価値を持つチームとなることを目指します。

行動規範(Code of Conduct)

- ・ **DIGNITY**

常に「品格」「品位」「品性」を持ったフットボーラーであります。

- ・ **ENGAGEMENT**

チームメンバーや全ての関係者と相互貢献できる関係や絆を築きます。

- ・ **ALL GRIT**

全ては気持ち。諦めず最後までやり切ります。

プレーの基本

Basic behavioral guidelines on the play field

- ・ 模範となるスポーツマンシップを徹底します
- ・ ホイッスルが鳴るまでやり切ります
- ・ どんな状況でも最後まで諦めません
- ・ ワンプレイ、ワンプレイ全力で行動します
- ・ 反則のないプレイに集中します
- ・ チームのためのプレイをします

CREDO

1. 「クレド」は RGL の基本的な信念です。全メンバーがこれを理解し、自分のものとして受け止め、常に実行します。
2. 「チーム理念」を良く理解し、全員の行動のよりどころとします。
3. 「行動規範」は RGL で活動するチームメンバーの心構えです。常に頭におき活動します。
4. 「プレーの基本」は私たちチームの基盤です。これを実践することで目指すべき RGL のフットボールを実行します。
5. チームの目標は、全てのメンバーに伝えられます。これをサポートするのはすべてのメンバーの役目です。

6. RGL を応援いただいている全ての皆さんに満足いただける、より高いレベルの感動を提供し、また友人知人にも RGL の応援をお勧めいただけるファンロイヤリティの高いチームを目指します。
7. ファン、サポーター、チームメンバー同士の喜び、満足のために、チームワークと相互協力で、最高のフットボールを実現できる活動環境を築きます。
8. 私たちは舞台に立つ役者と同じ、フィールド内でもフィールド外でも常に観客に見られているという意識を持ち、立ち振る舞います。
9. 常に元気に感動を与えるプレーでファンやサポーターの心をつかみます。
10. ファン、サポーターにもチームメンバー同士でも、必ずきちんとした言葉づかいで、気持ちのよい挨拶をします。

11. チームとして行動している時も単独で行動する時も、常に RGL のチームメンバーとしてチームを代表していることを忘れず、その代表にふさわしい行動をします。
12. 常に問題意識を持ち、自分自身が自ら進んで渦の中心となり、スピード感を持って問題解決に努力します。また、解決・成功するまで諦めません。
13. 常にポジティブに行動し、「ノー」という言葉は使わず、必ず「イエス」から始まる、肯定的思考で問題を解決します。
14. 漫然と行動するのではなく、どんな時でも、意識を持って意識を注ぐ「有意注意」を実践します。
15. 問題に直面した時、交渉あるいは調整する相手ではなく、その問題そのものを憎み共に力を合わせ一緒に解決する努力をします。

16.常に Observe（観察） Orient（方向づけ） Decide（決定）

Act「実行」を意識し、スピード感を持って繰り返し行動の「OODA LOOP」を絶え間なく回転させます。

17.自分の身だしなみに誇りを持ち、細心の注意を払います。また

チームメンバー 一人一人が、社会人のプロフェッショナルとして行動しその印象を大切にします。

18.安全を第一に考え、ファン、サポーター及びチームメンバー

のために安全・安心である活動環境を整えます。

19.全てのチームメンバーは、チームの資産を守り、エコであり

最良の環境保全に努めます。またあらゆる危険な状況や問題は直ちに報告します。

20.自分、仲間、チームを愛し、チームメンバー全員がベクトル

を合わせ、より高い価値を持つチームを目指します。

「パラダイムと原則」 Paradigms and Principles

相手との相違点を尊重し、時には取り込む勇気を持つことで、想像を超える新たな価値を生み出します

「インサイドアウト」 Inside-Out

自分の行動が多くの人々へポジティブな効果、影響を及ぼす、主体的なエネルギーの輪を自身の内側から押し広げていきます。

また自分の持っている能力を最大限引き出します。

自分の体、精神を大切にし、ポジティブな考え方や言葉を使い、日々感謝の気持ちを持ち自分を高めます。

21. 「主体的である」 Be proactive

環境や周りの状況に左右されることなく自分にできることは何かを主体的に考え、全ては自分自身だと決意し行動します。

22. 「目的を持って始める」 Begin with the end in mind

人生の終わりを描きやるべきこと、目的を考え 結果に至るまで努力をします。自分がどうなりたいか何をしたいのかしっかりと目的を持ち達成するまで何度でも諦めません。

23. 「最優先事項を優先」 Put first things first

時間管理ができる行動をします。「緊急なこと」に振り回されず、重要なことを優先する能力を身につけます。

24. 「Win-Win を考える」 Think Win/Win

協力し合いお互いの満足する結果を得るために行動します。
そのために人格（誠実、成熟、豊かなマインド）を磨き、信頼関係を築きます。

25. 「まず理解に徹しそして理解される」

Seek first to understand, then to be understood

相手を評価、助言、解釈しようとしたりせず、まず「傾聴」し「共感」「理解」することでお互いの信頼関係を築き、自らも理解されるようにします。

26. 「シナジーを創り出す」 Synergize

個々の違いを尊重しあい認め合い、相互協力のもと100%以上の力を出す最大のシナジーを創出します。

27. 「刃を研ぐ」 Sharpen the saw

より良い習慣をバランスよく効果的に伸ばしていくため、健康・精神・知性・情緒に磨きをかける習慣を身につけます。

28. そして再びインサイド・アウトを実行します。

Inside-Out Again